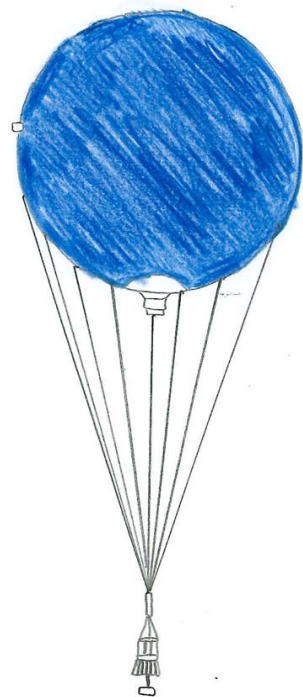


戦後80年講演会（令和7年度一宮町史編さん講座）



# 風船爆弾とは何だったのか

― その狙いと作戦の実態 ―

定員 **80** 人  
(先着)  
参加無料  
予約不要

※施設内は土足厳禁、  
スリッパのため必要な方は  
中履きをお持ちください。

講師

**山田 朗**氏

明治大学平和教育  
登戸研究所資料館館長  
明治大学文学部教授

## 【会場案内図】



日時

2025. **11** 月 **22** 日(土)  
13時30分 ~ 16時  
(受付: 13時~)

会場

一宮町中央公民館1階大会議室  
(千葉県長生郡一宮町一宮2460)

【問合せ】 一宮町教育委員会

0475-42-1416(平日のみ)

## 風船爆弾とは？

風船爆弾とは、和紙をこんにゃく糊で張り合わせて作った直径約10mの気球（風船）に、爆弾や焼夷弾を吊るしたもので、偏西風を使って太平洋を横断させ、アメリカ本土を攻撃することを目的に開発された兵器です。

福島県勿来（いわき市）、茨城県大津（北茨城市）、千葉県一宮の計3ヶ所に打ち上げ基地が設置され、昭和19年（1944）11月から翌年にかけて合計約9,300個が打ち上げられ、約1,000個（諸説あり）がアメリカ大陸に到達したといえます。

一宮の打ち上げ基地は打ち上げのためのコンクリート台が12ヶ所設置されたとみられ、風船爆弾の資材の運搬のために、基地に向かって上総一ノ宮駅から引込線が敷かれました。戦後に基地・引込線ともに破壊され、当時の面影は残っていません。



▲左上：風船爆弾球皮の破片  
右下：打ち上げ基地コンクリート片  
（一宮町教育委員会蔵）



▲一宮の風船爆弾打ち上げ基地跡  
（一宮町一宮6-35付近、実際の基地は写真手前の道路を挟んで海側に存在）

### 【関連事業】

令和7年度第2回企画展示

「戦後80年 一宮町の“戦争”

－ 風船爆弾・本土決戦準備戦跡・陸軍廠舎・出征・銃後－」

会 場：一宮町歴史資料展示室（一宮町中央公民館2階ロビー）

会 期：令和7年7月25日（金） ～ 12月22日（金）

※期間中、一部展示替えがあります。